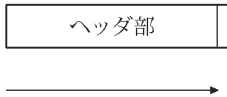
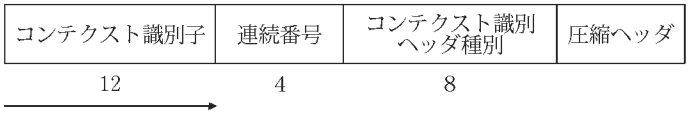
注１　分割指標は、ＭＭＴＰペイロードに格納するデータの分割の状態とし、別記第１注４の表に示すとおりとする。
２　長さ情報拡張フラグは、メッセージの大きさを示すメッセージデータ長を16ビットとするときは‘０’とし、32ビットとするときは‘１’とする。

別表第十号　圧縮ＩＰパケットの送出手順



注　ヘッダ部の構成は、別記第１に示すとおりとする。

別記第１　圧縮ＩＰパケットのヘッダ部の構成



注１　コンテクスト識別子は、ヘッダ圧縮を行ったＩＰパケットのフロー（ＩＰｖ４パケットのプロトコル又はＩＰｖ６パケットのネクストヘッダ並びに送信元アドレス、宛先アドレス、送信元ポート及び宛先ポートの５つの領域の値が同一の組み合わせを持つＩＰパケットの集合をいう。）を示すものとする。
２　連続番号は、同一コンテクスト識別子を持つ圧縮ＩＰパケットの順序を示すものとする。
３　コンテクスト識別ヘッダ種別は、圧縮ヘッダの種別を識別するために使用する領域とし、割当ては別記第２に示すとおりとする。
４　圧縮ヘッダは、ＩＰｖ４ヘッダ部又はＩＰｖ６ヘッダ部及びＵＤＰヘッダ部をコンテクスト識別ヘッダ種別に指定される方法で圧縮した情報を書き込むための領域とする。

別記第２　コンテクスト識別ヘッダ種別の割当て

コンテクスト識別ヘッダ種別の値	割当て
0x20	部分ＩＰｖ４ヘッダ及び部分ＵＤＰヘッダ
0x21	ＩＰｖ４ヘッダ部の識別子
0x60	部分ＩＰｖ６ヘッダ及び部分ＵＤＰヘッダ
0x61	圧縮ヘッダなし
上記以外	未定義

注１　部分ＩＰｖ４ヘッダは、ＩＰｖ４ヘッダ部からパケット長、ヘッダチェックサム、拡張情報を除いたものとする。
２　部分ＩＰｖ６ヘッダは、ＩＰｖ６ヘッダ部からペイロード長を除いたものとする。
３　部分ＵＤＰヘッダは、ＵＤＰヘッダ部からデータ長及びチェックサムを除いたものとする。

別表第十一号　ＴＬＶパケットの送出手順



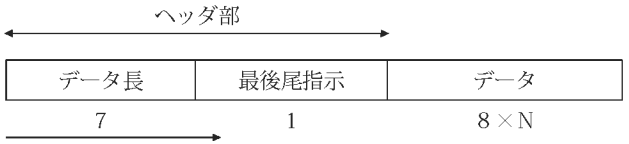
注１　パケット種別は、ＴＬＶに格納するパケットの種別を識別するために使用する領域とし、割当ては別記に示すとおりとする。
２　データ長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。

別記　パケット種別の割当て

パケット種別の値	割当て
0x00	未定義
0x01	ＩＰｖ４パケット
0x02	ＩＰｖ６パケット
0x03	ヘッダ圧縮したＩＰパケット
0x04-0xFD	未定義
0xFE	伝送制御信号パケット
0xFF	ヌルパケット

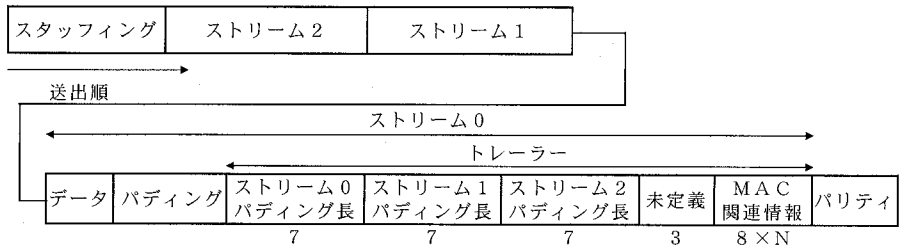
注　ヌルパケットは、データ長に示される長さの0xFFのバイト列をデータに書き込んだパケットとする。

別表第十二号　トランスポートフレームの送出手順



注１　データ長は、最後尾指示より後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。ただし、データが全てパディングである場合は‘1111111’とし、これ以外の場合は‘1111001’以下とする。
２　最後尾指示は、サービスパケットの最後を含むか否かを示す領域とし、含む場合はその値を‘１’とし、含まない場合はその値を‘０’とする。ただし、データが全てパディングである場合は、‘１’とする。

別表第十三号　データチャネルＭＡＣプロトコルカプセルの送出手順



注１　ストリーム０パディング長、ストリーム１パディング長及びストリーム２パディング長は、それぞれストリーム０、ストリーム１及びストリーム２に含まれるパディングのデータバイト数を書き込む領域とする。
２　ＭＡＣ関連情報は、ＭＬＣ（連続するデータチャネルＭＡＣプロトコルカプセルの集合をいう。以下同じ。）に関する情報の伝送のために使用する領域とする。
３　未定義は、全て‘０’とする。